

日一廿月二

常磐每日新聞

定額一円 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
廣告料五字一円 十字一円五角 二十字一円五角
日曜祭日の翌日休刊
発行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日印刷株式会社

七十翁の初發心

眞繼 雲山

(二)

形はそれにて出来たが中味は如何にぞやと尋ねしにこれから修業するのだとて入洛忽々から宗立の佛敎學院に通學し、白面の書生と机を並べて一生懸命に勉強してゐるのだといふ。佛縁なればこそ有り難し。

佛道を得るには必ずしも學園に長時の修行を要せず經に頓漸の二敎あり、一念にして則ち到るので、それでこそ萬人ひとして入り得るのであるが、一平翁はその頓敎を採らず、一歩々々に進むといふ漸敎の道を選んだのである。但し佛學としては漸敎であるも、求法の念願だに切なるものがあるならば、入證菩提の一点は頓速にして得らるゝのである。一平翁も一生懸命であると思つて、その翌日に私は大切な夫人と美しい娘さんを借用して、共に嵐山の勝を探つたが、一平翁は

學業が大切だとあつて朝八時前に靴をかきへて、コツ／＼と出て行つた。壯なるかな七十翁の學生姿！世の若男女老女たち、顧みて如何にぞや。年老ひたる時人の多くは淨土行の支度としてお寺参りを始めるのである。

ノート

雨漏は漏電の媒介とがあるから直に修繕すると共に、線の被物の少しでも剥げたものは取替へるがよい。

一平翁は天晴れの名僧智識となり、これよりして一旗擧げやうといふのである。

按づるに學問そのものは宗教ではなきも、宗教に入るための最も近くして正しき道は學問を先決とする。

二明日の献立

【朝】でんぶ—かつをでんぶ—らつきよう漬
【晝】みそ煮—はまぐりみそ煮—せん生姜
【晚】みそ汁—あんこ—大根

一平翁はその完成を形にあらはして、天晴れ名僧を天下に布かんとする念願であらうが、惟ふにさうした名譽不名譽の問題から離れ切つた時が一平翁の宗教的完成

笑話

無言の行をしてゐた大小四人の僧、夜が次第に更けて燈が消えかゝつたので、一番の若僧が「小使のもの、火をかきあげよ」といふと、次の僧が「無言の行に物言とは何事だ」と答めた。その次の僧が「一人ならず、二人まで物言とは何事だ。」すると一番年寄な僧が得意顔で「おればかりは物言はぬぞ。」

藤沼醫院

平町紺屋町
電話五〇七番

金銀高價買入

平町二丁目(三幸堂跡)
根本時計店
電話六〇七番

毎度御ひいき
有難ふ御座ります
うなぎの御用命は
うなぎの奴

ホール御座敷の設備あります。皆様の御立寄を!!
平町田町(電話三三番)

セメント 磐城セメント株式会社
壁用材料
コールタール 代理店 西村屋薬舗
ペンキ塗料
板ガラス 平町二丁目 電話三

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科
平南町(電話一七〇番)
大和田醫院

質流れ衣裳類 一式
御仕立御祝儀物
三丁目通り
旭屋衣裳店
電話四二五番

全外科 醫學博士 渡部 義夫
小兒科 女 醫 渡部 きい子
内科
平町田町大通り(電話二七七番)
入院應需 渡部 外科

トモテモ白面
不思議な玩具

大人も子供も白熱的大歡迎
ヨ—ヨ—が來ました
世界的流行玩具 一ケ金 五錢
平驛前 いづみや玩具店



玉屋 玩具店
平町田町通(電話六五六番)

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科
平町田町 電話五二三番

眠つて居る貯金通帳 一千數百圓に

是れが平局管内だけ

不景氣と云ても世間は廣い

放て置けば國庫へ

郵便貯金の國庫沒收不景氣と言つても世間は廣い折角零細な現金を積んで纏め上げた

苦心の貯金をそのまゝ國庫に差上げてしまふ奇特?な御仁が今もなほ多い

今年も年度決算の直後睡眠貯金の整理没收手續きを取るが規程により十年間通帳の提出もなく申告もない預金通帳が平郵便局管内で九百六十通ありこの金額が二千數百圓に達してゐると言

ふから豪勢なるものであるこれらに對しては昨年中貯金局から催告を發してあるがなほ且申告の出ないものに對しては五月早々最後の手續きを取り預金原簿から永久に抹消されてしまふのである、これらの預金者の大部分は名義人が死亡するか行衛不明者である職業的にこれを判別すれば農業、商人、使役人、職工等が多い

手續きを取り預金原簿から永久に抹消されてしまふのである

兒童の手に成る

廢物利用製作品

學藝會當日に展覽會を催し

優秀品に賞状

と

- (一年)折紙 貼紙細工
- (二三年)貼紙 畫用紙細工
- (四年)組紙 ボール紙
- (五六年)ボール紙細工
- 木工(高等科)木工

既報平第一小學校にては來る三月十日全校兒童の學藝會及び成績品展覽會を催すが各學年に於ける成績品出品の種別は左の如くである尙當日は實用品裝飾品玩具等の廢物利用製作展覽會を併せて催し優秀なる製作物に對しては賞状を授けらる

匡救工事監督 平土木監督所管内匡救事業事務

監査の爲め昨廿日來平した縣土木課の北島藤は飯野村豊間村で夫々事務監査を行

不正事件の摘發で

村長に辭職を勸告

小川村有志間に

相當根強く唱へらる

石城郡小川村では過般匡救事業不正事件を司直の手に依つて摘發され殊に事件の中心人物は現村會議員の職にあるので目下同村有志間では村勢改革を圖る爲め村長白井菊造氏の辭職勸告説を唱ふる向が相當強固に及

平養蠶の總會 平養蠶實行組合總會は來る廿六日午前十時より役場會議室に開會七年度決算及び八年度豫算其他を協議すると

平商の入學生徒

從來より十名増

昨日職員會議で決定

平商業學校にては昨日職員會を開いた結果本年の入學許可人員は從來よりも十名を増加し百十名と爲し試験期日は三月二十七日に國語

算術の考査及び体格検査二十八日に常識考査でいづれも尋常科六學年程度に依り行ひ志願締切は三月二十四日限と決定したと

平町人事

- 回出生 鹽田勝治郎氏 三女 秀子
- 回死 亡
- △長橋町五五 當時岡山市津島小野淑子(五ツ)
- △北目町三六 楡春吉(七)

自力更生

第一回委員會

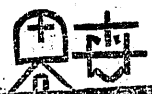
既報石城郡農會主催の自力更生第一回實行委員會は本日午前十時より大浦村役場に於いて開かれた

たひら正宗

美味! 芳醇!

山崎合名會社 電話一〇番

食事 喫茶



電話四六番

今度左の様な献立に寄りましてせいかくお氣に召します様に勉強致します。何卒御尊來御試食の程伏して御待ち申上げます。

水たき 御一人前金五十錢 二人前ヨリ

鯛茶 漬御一人前金五十錢

料理四品酒一本付 金壹圓

◇料理は毎日献立を替へて調理致します ◇御宴會出前は如何様にも御相談に應じます

割烹旅館 住吉屋本店 電話一五九番

磐城セメント會社特約店



磐城平町五丁目 電話九番九九番

□良品廉賣に勝る商略なし

□確實敏捷はの生命なり

吉田眼科病院

平紺屋町、電話六八番

貸切の御用命は!

獅子吼(四四九)ノ勢デ

眞先ニ……(マツサキ)

三九ニフウシーへ!!!

保護者感謝の的

シモヤケ治療部

津田校長が院長格で

放課後一時間宛療治

平第二小學校にては今学期初めよりシモヤケの出来て居る痛々しい五十餘名の生徒に對し治療部を設け津田校長が院長格で橋本訓導外五名が

看護婦の役目に任じ毎日放課後一時間宛懇切な治療を行つて居るが其效ひあつて目下の處五名を減すのみとなり他は全部全癒し

たので此の分では後一週間で全部全快となるであらうと喜んで居る此の學校の温情ある 試みに對し保護者達は感謝の餘り二丁目大一屋が綱帶二反、オゾ十ヶ、ヨデーム一瓶を寄附せられた外五丁目佐川定次郎氏も藥草等を寄附せられた由

刑務所暮し

廿三年間の強か者

石城郡湯本町生れ當時住所不定強盜前科四犯馬上量平(三)は去月中湯本町八仙坑夫青木旭方より時計衣類等を窃取して茨城縣方面に逃走したが去る十九日夜茨城縣磯原町大北川橋に於いて檢舉され本日平署に磯原署から同人の身元照會があつたが同人は廿三年間の刑務所生活を経た強か者である

難破して

漁夫行衛不明

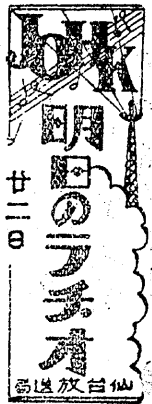
石城郡湯本町八幡町生れ漁夫小林要一(三)は茨城縣多賀郡平瀨町遠藤治太郎方に出嫁し同家所有船彌彦丸に乗組去る十七日鹿島灘沖合に出漁中強風の爲全船員と共に難破行衛不明となつた

孤兒の盗み

平署が善導策を

各方面に求める

昨夜九時頃平町白銀町マルカ書店で金銀登録器に手を掛け現金を窃取せんとする少年を店員が発見平署に突



明日のラジオ 今夜も明日も北西の風天氣良し

今晚の部

後六〇〇 子供の時間
ラデオドラマ「雪の故郷」
名古屋童話劇協會
後七三〇 講演の夕「國際聯盟脱退と日本」東大教授法學博士神川彦松
「國際法より見たる日本」
後九〇〇 子供の時間
「最近國際情勢と日本の濟界」前大藏參事官經濟學博士太田正孝
後九〇〇 ビアノと管絃
東京ラデオオーケストラ 指揮菅原明朗
ノ獨奏高木東六

明日の部

後九、三一 滿洲
後九、四〇 全國ニュース
氣象通報 番組豫告
後二、〇〇 婦人講座「歌の正しきうたひ方」醫學博士岡田和一郎 實演鈴木信子 長坂好子
後五、三五 受驗講座
代數 松村定次郎
後六、〇〇 子供の時間
「廟行鎮の爆音」樞子供會
後七、三〇 講演「戦争と愛國歌」堀内敬三「吹奏樂」陸軍戸山學校軍樂隊「軍歌肉彈三勇士の歌」九州帝國大學フイルハーモニーオーケストラ「軍歌と行進曲」大阪市音樂隊

職業の問屋が

夫婦喧嘩で失職

盲目の身を徒歩で東京から

平町役場に願出

平裁判たより

石城郡小名濱町字下町七十七番地飲食店小幡弘(三)は去月二十七日自宅に於て同町川名助八を投げ倒し顔面に全治約一週間を要する創を傷與へ傷害罪として科料十圓に本日平區裁判所に於て略式命令を以て處分された
平町字立町居住日雇業相

泥棒呼ばりの揚句亂暴

石城郡高久村字上山口山口房吉(三)は去月中知合の宴席で同村字戸神居住佐々木松之(三)論と口し同人を泥棒呼ばりをして侮辱した揚句面部を毆打したので本日平署に告訴された

古物商の違反

石城郡内郷村大字宮字金坂居住古物商鈴木義男(三)は去る十九日同村字御殿の佐藤貞治より古銀十八メを二圓餘にて買入れた儘記帳せぬ外昨年中より十餘件の買入を全部記帳せぬ事發覺、古物商違反として廿日平署で取調べらる

井坂醫院

平町 田町 町
電話 五五九番

印刷物の御用命は總て
常磐日印刷株式會社
電話 三六〇番

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉 演
近藤 紫雲 畫

第二百七十二席 千葉 周 作

愈よ若侍の入門

茲は神田お玉ヶ池千葉周作先生の道場、朝より夕に至るまで道場に竹刀の音は絶えない、當時先生の代稽古をいたして居るは眞田範之助これは名人です後に新徴組を相手に深川御船藏前で斬死をした、それには仔細もありますがその事は追つてお話をいたす

範「さあしつかり来い、そんな事では生きた人間は斬れなからう、どうしたどうした意氣地のない奴だナ、ソレ痛いところへ一本行くぞお面だ」

○「まま参つた参つた」を爲しくづしに云ふ

○「願ひます——頼む」

ピンと響き渡つたその聲、これを聞いたは武者溜に稽古の監督をしてゐた千葉先生

周「誰か玄關へ参つたぞ、大きな聲だナ、それに赤い聲だ」
○「聲にも色がございますか」
周「あるよ黒い聲に白い聲青い聲に黄色、今玄關で案内を乞うてゐる奴は赤い聲だナ誰か出てみる」
やがて玄關へ出て来たは

武田三平といふ者
三「誰方」
○「手前は今日御門入として罷り越しましたが宜しく先生に御披露下さいまし」
三「ア、左様か姓はなんと仰せられる」



○「姓名の儀は先生に御面會の上申し上げることに仕る」
三「名を云ふ事はならぬかな姓名をかくし居るやうでは貴様は曲者だナ」
○「イヤ、怪しき者ではござらぬ」
三「然らば姓名をいはずし

やい」
○「お茶の水と申せば先生は御承知でございます」
三「お茶ノ水妙な苗字でござるナ」
○「之にて御判りなさらずば聖堂と申しても宜しうござる昨夜先生にお目通りをいたしたへこが参つたとお取次ぎ下さい」
三「妙な奴が来たナ」とつぶやきながら道場に参り
三「先生御入門でございます

たハテナ」
三「それで判らざれば聖堂と申せば判ると申せば判ると申して居ります」
周「ウン、奴か」
三「御存知でございますか……」
周「存じて居る昨夜小石川より戻りに聖堂前へ参ると突然後から斬付けた者があつた引外して組伏せ物取りかと問うと試し斬りだとのことと後來を戒しみて助けてやつたがそれが尋ねて参つたものであらう、此方へ通せ……」
三「そいつは物騒千萬此方へお通りなさい」
○「御免を蒙る」
その若者は案内に従ひ道場に参る、武者溜の爐の前に居つた千葉先生

周「ウンさうか藩士か直参か」
三「身分は判りませぬが姓名はお茶ノ水と申しましたまだ十七八歳になる小僧でございますが先生に昨夜お目にかつたへこだなどお申して居ります」
周「ウー、茶の水で會つ

○「昨夜は御不禮をいたしましたしてござります」
周「ウン危いところであつた貴様が未熟者ゆゑ俺の命に別状もなかつたが出来てゐれば今頃俺は三途の川邊まで参つたであらう」
○「これは恐れ入りました何卒御門人の端へお加へ下されて御教導下さらば有難き仕合せ」
周「望みどあらば教へて遣はす、貴様は何處の藩士だへこと申すやうでは芋だナ」
○「芋と申します」

市原醫院

平町 田町
電話 一一四番

梅毒

淋病 皮膚病 婦人病

病林

腸胃病 十二指腸病

門專

院醫科腸病 院醫科腸病

○七一話電 町南平

看護婦急派

の求めに應じます

平町南町

平看護婦會

電話三〇七番

米國製劑皮膚病良藥

レメドール

子宮あたゝめぐすり

宮 温 湯

丹波博士創製セキドメ

たんばあめ

靈藥ムテキ

平町古鍛冶町一〇

阿 康 藥 舖

縣社ノ下 電話四四番

外科

門專 X

科線光

上田外科病院

平町南町

電話一二九番

北海屋の

名産 製米 糯

もちり銘

右發賣致しましたから何卒多少に不拘御用命下さる様御願ひ致します

●滋養豊富 味覺佳良ですから御病人の御見舞に最適品。●價格低廉 萬人の御口に適しますから一般家庭の御贈答用に最適品。

平二丁目

北海屋製菓部

電話三八八番